

## 令和6年度第1回木更津市総合教育会議

- 開催日時 令和6年5月28日(火)午後1時
- 開催場所 リモート開催・木更津市役所駅前庁舎8階会議室1(傍聴)
- 出席者  
(構成員) 市長 渡辺芳邦、教育長 廣部昌弘  
教育委員 渡部佳子、豊田雅之、小寺孝治郎、中島緑  
(関係者) 田中副市長  
(事務局) 植野総務部長、中原総務部次長兼総務課長、渡辺総務課長補佐  
吉野総務課総務係長、岸総務課主任主事

- 議題及び公開又は非公開の別  
議題 (1) 木更津市第3次教育大綱施策カードの内容報告について(公開)  
傍聴人の数 5人

### 会議の内容

- 市長 ただいまから、令和6年度第1回木更津市総合教育会議を始めます。本日の出席者と傍聴人の確認を事務局からお願いします。
- 中原課長 本日の出席者は、市長、教育長及び教育委員4名、合計6名の出席で会議は成立しております。  
次に、傍聴者は、5名となっております。  
また、木更津市総合教育会議運営要綱第4条第2項の規定により、議長である市長は、その会議の進行を指名する者に行わせることができるとされております。  
市長、いかがいたしましょうか。
- 市長 本日の進行については、副市長にお願いしたいと思います。
- 副市長 それではただいま市長から指名をいただきましたので、私が進行を進めさせていただきます。  
早速、議事を進めさせていただきます。  
本日の議題は、「木更津市第3次教育大綱施策カードの内容報告について」となっております。  
それでは、事務局から説明をお願いいたします。
- 中原次長 それでは、私から説明申し上げます。  
はじめに、施策カードの概要につきまして、改めてご説明申し上げます。  
令和5年2月に策定いたしました、木更津市第3次教育大綱では、3つの基本方針がございます。  
その基本方針に沿って、より具体的な施策である7つの「基本施策」を定めており、この7つの基本施策を達成するための、個別の施策展開として作成したものが、施策カードになります。  
施策カードは、17枚あり、取り組むべき主担当課が、関係課と協議のうえ、「現状と課題」、「課題解決に向けた方向性」を整理し、併せて、令和5年度から令和8年度までの指標などを定めたものであり、昨年度の総合教育会議において、主なものの概要についてご報告させていただきました。  
本日は、この17の施策カードにつきまして、令和5年度の実績報告と今後の活動予定について、ご報告申し上げますが、時間の制約もございますので、簡潔な説明となることを、予めご了承いただきたいと思います。
- 副市長 それでは、施策カードにつきまして、ご報告させていただきます。

はじめに、1枚目のカードでございます。

実施内容は、「放課後子ども教室、放課後児童クラブの充実」でございます。

主担当課は、生涯学習課でございます。6の指標をご覧ください。こちらのカードでは、「放課後児童クラブ設置数」を指標としており、令和5年度の目標値52に対し、令和5年度時点の設置数は54と、目標を上回っている状況でございます。

令和6年度以降の活動につきましても、放課後こども教室については、依然としてスタッフ不足などの課題はありますが、小学校区放課後こども教室運営委員会と協力しながら運営を進めていくこととしており、また、放課後児童クラブにつきましても、新規に開設した事業者に運営費の補助を行っていくことで、事業を一層推進していくこととしております。

続きまして、2枚目のカードでございます。

実施内容は、「学校長寿命化計画による計画的な施設の改修」でございます。

主担当課は、教育総務課でございます。こちらは、令和3年6月に策定しました、木更津市学校施設長寿命化計画に基づき、老朽化が進む学校施設の改修を行っていくものでございます。こちらは、指標を工事実績としておりますので、令和5年度の目標設定はございませんが、一番下の令和6年度の活動予定に記載のとおり、現在、令和5年度から令和7年度の3か年計画で、波岡中学校校舎の長寿命化工事を進めているところでございます。

続きまして、3枚目のカードでございます。

実施内容は、「特別教室などの空調整備」でございます。

主担当課は、教育総務課でございます。こちらは、特別教室への空調設備につきましても、使用頻度の高い教室から整備していく方針としておりますが、令和5年度の目標としておりました、対象設置計画の策定につきましては、策定までには至らなかったところでございます。令和6年度の指標として、設置計画を策定することとしております。

続きまして、4枚目のカードでございます。

実施内容は、「地元産の有機栽培米の提供の継続、促進」でございます。

主担当課は、学校給食課でございます。令和5年度は、昨年11月1日から本年3月23日にかけて、市内の公立小中学校30校に対し、「きさらづ学校給食米」を83日間提供することができました。令和4年度は、71日間でありましたので、提供日数の増加となり、指標として決めました、学校給食への木更津産有機米の提供割合といたしましても、目標の61.9パーセントを達成いたしました。

令和6年度は、米飯給食日数を年間153日に増やすとともに、鎌足小学校、中郷小学校では、年間を通じての有機米の提供と、自校炊飯の実施を行っていくこととしております。

続きまして、5枚目のカードでございます。

実施内容は、「地場産物を取り入れた給食の提供」でございます。

主担当課は、同じく、学校給食課でございます。指標として掲げております、「学校給食に提供する千葉県産食材の使用割合」でございますが、これは、学校給食で使用する食材の「品目数」に占める、千葉県産食材の品目数の割合となっております。令和4年度と令和5年度で約38パーセントと現状維持の数値となり、目標は下回る結果となりましたが、その理由といたしましては、天候不順や夏の猛暑による収穫量減の影響もあり、物価の高騰や、食材の使用予定時期がずれ込んだりしたことなどが原因であると分析しております。

今年度は、安定的な使用に向けて、当初予算の確保に努め、使用割合の増加を目指していくこととしております。

続いて、6枚目のカードをご覧ください。

「地産地消の推進に貢献できる新しい給食施設の整備検討」でございます。

主担当課は、こちらも学校給食課でございます。こちらは、全施設で老朽化が進んでいる学校給食施設の現状の課題を解決するため、令和5年度は、新たな学校給食施設の整備候補地の選定及び基本構想の策定を指標としておりましたが、候補地の検討にとどまった結果となったことから、令和6年度も、引き続き候補地選定と基本構想の策定に取り組むこととしております。

次に、7枚目のカードをご覧ください。

実施内容は、「公民連携によるプログラミング教育の充実」でございます。

主担当課は、まなび支援センターでございます。こちらは、民間企業等と締結したプログラミング学習に関する連携協定を基に、各小中学校へ出前授業を実施しております。指標として、令和8年度までに市内小中学校30校に対し1回以上授業を行うことを目標としておりますが、令和5年度末時点で、既に10校で実施しております。

令和6年度も、プログラミング学習に関する年間計画を策定するとともに、引き続き出前授業を行っていくこととしております。

次に、8枚目のカードをご覧ください。

実施内容は、「小規模特認校に通学する児童生徒の増加への取組」でございます。

主担当課は、学校教育課でございます。こちらは、小規模特認校の児童、生徒数を指標としております。令和4年度から令和5年度にかけては、小学校、中学校ともに増加しており、中学校はわずかに下回りましたが、概ね目標に達している状況でございます。

令和6年度は、小規模特認校の情報発信とともに、スクールバスを3台から4台に増やすことや、バスの運行経路の調整を行うなど、より多くの児童が利用できるようにすることで、更なる効果発現を図っていく予定としております。

次に、9枚目のカードをご覧ください。

実施内容は、「江川総合運動場の児童生徒による利用促進」でございます。

主担当課は、スポーツ振興課でございます。こちらは、指標として、江川総合運動場利用者数を掲げておりますが、令和5年度は、4万3千人の目標に対して、約5万7千人と、目標値を大幅に上回る結果となりました。更なる利用促進といたしまして、気軽に運動ができるちびっこ広場や、令和5年に共用を開始した、第1野球場やサッカー場などの大規模施設の利用促進を図るため、「チャレスポ in KISARAZU」などの市のイベントや、指定管理者の自主事業による体験教室等を行うこととしております。

次に、10枚目のカードをご覧ください。

実施内容は、「子どもがスポーツに触れる機会の提供」でございます。

主担当課は、同じくスポーツ振興課でございます。指標といたしまして、前のカードでも触れました、市のイベントであります、「チャレスポ in KISARAZU」の参加者を掲げておりますが、令和5年度の結果で1,152人と目標を大きく上回る方々にご参加していただいております。スポーツ体験教室の他、今年度は、新たに、当日参加のできる体験ブースの拡充などを行うことで、参加者の増大を目指すこととしております。

次に、11枚目のカードをご覧ください。

実施内容は、「中学部活動の地域移行の検討」でございます。

主担当課は、学校教育課でございます。こちらのカードは、数値による指標化が難しいことから、名称欄に文章で目標を記載しております。令和5年度は、庁内検討会議を行ったほか、市内の中学校、全12校を訪問し、各方面からのヒアリングを行ったところでございます。

令和6年度は、「木更津市部活動地域移行協議会」を設置し、課題検討を行っていく予定でございます。

次に、12枚目のカードをご覧ください。

実施内容は、「公民館長寿命化計画の策定及び老朽化対策の推進」でございます。

主担当課は、生涯学習課でございます。築30年を超え、老朽化が進む公民館が7割となっている現状に対応するため、「社会教育施設個別施設計画」の中の建物の健全度と築年数をもとに、令和6年度以降、関係課と協議を進め、全庁的な体制で施設の再整備を行っていく予定でございます。具体的には、既に空調設備が故障している岩根公民館について修繕を予定しているところでございます。

次に、13枚目のカードをご覧ください。

実施内容は、「公民館の自習スペースやフリースペースづくりの推進」でございます。

主担当課は、同じく生涯学習課でございます。指標として掲げております、各公民館で開設するフリースペースの数につきましては、令和5年度中に全ての公民館で設置され、当初の目標を達成いたしました。今後は、それぞれの施設や地域の実情に応じた利用者のニーズをとらえ、試行錯誤を重ねる中で、「参加者層を拡大する」ことを目標とすることとしております。なお、関係課に確認いたしましたが、フリースペース等の利用人数については、全ての施設で把握はできていないとのことでした。今後は、目標値を利用者数に変更できないか、関係課と協議を重ねていきたいと考えております。

次に、14枚目のカードをご覧ください。

実施内容は、「文化芸術活動の拠点施設の整備促進及び中央公民館並びに図書館の複合化」でございます。

主担当課は、地域政策室でございます。実施状況でございますが、令和5年度に、目標通り、「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（吾妻公園）」を策定いたしました。今後は、令和6年度から7年度にかけて、実施計画を基にした、文化芸術拠点施設を含めた吾妻公園全体の基本設計等を実施していく予定でございます。

次に、15枚目のカードをご覧ください。

実施内容は、「金鈴塚古墳出土品国宝化を目指した市民意識高揚への取組」でございます。

主担当課は、文化課でございます。こちらは、指標といたしまして、入館者数を掲げております。令和4年度の約6800人から、令和5年度は約8700人へ増加いたしましたが、目標としていた9000人には届かない結果となりました。

令和6年度は、引き続き、金鈴塚古墳周知資料を、市内小学校の対象児童に配布するほか、新たに、二次元コードを用いた展示解説パネルを作成し、金鈴塚古墳出土品の展示事業の充実を図ることで、来館者を増やす取り組みを進めていく予定としております。

次に、16枚目のカードをご覧ください。

実施内容は、「友好都市の小中学校との交流による国際理解教育の推進」でございます。

主担当課は、学校教育課でございます。指標といたしましては、オンラインによる交流も含めました、友好都市や姉妹都市との学校同士の交流回数を掲げております。令和5年度は、目標2回に対して1回の実施となりましたが、今年度は、6月にベトナム日本人学校が木更津市に来訪予定となっており、市内中学生との交流会が予定されております。

また、今後の取組といたしまして、オンライン交流会などが出来るシステム等の構築により、交流の機会を増やし、国際理解教育の推進をしていく予定でございます。

最後に、17枚目のカードをご覧ください。

実施内容は、「いじめをなくす、起こさない取組の推進」でございます。

主担当課は、同じく学校教育課でございます。指標では、いじめの解消率を掲げており、

令和4年度から令和5年度にかけて、解消率は小学校・中学校両方であがっており、目標値も上回る結果となりました。令和6年度でございますが、令和5年度も実施いたしました、「いじめに係るアンケート」・「教育相談」を各学期に1回以上実施するよう推奨し、学校全体で対応するための情報共有体制が構築できるよう支援するほか、新たな取組として、いじめの解決が困難なケースについては、市S S W（スクールソーシャルワーカー）が各学校で行われる生徒指導会議に参加し、支援や助言を行うなど、いじめの更なる解消に向けて取り組むこととしております。

駆け足での説明となりましたが、17の施策カードにおける、令和5年度の状況及び今年度の活動予定などの報告は以上でございます。

今後とも、実効性のある施策カードとなるよう、関係課と連携して、現状の把握や、課題の整理・検討に努めるとともに、指標の再設定など、必要に応じて修正等を行ってまいります。

私からは以上でございます。

○副市長 ただ今、事務局から令和5年度の実績を踏まえた説明がありました。各施策について、委員の皆様のご意見を伺いたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

○豊田委員 施策カードの1枚目「放課後子ども教室、放課後児童クラブの充実」について、指標として教室設置数は増加しているが、利用者数、児童数は増加していますか。

○中原次長 指標を設置数としているため、事務局の方で利用者数は把握しておりません。

○豊田委員 例えば70人くらいの教室を35人ずつの2つの教室に分けたりすることも考えられます。この場合、利用者数は変わっていないけれども、教室数は増えるということになります。

○中原次長 今後、関係課とも確認しながら、指標の再設定など検討いたします。

○副市長 他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

それでは、木更津市第3次教育大綱につきましては、いただいたご意見を踏まえ、施策カードの内容に沿って各施策を進めてまいります。

議事は以上でございますので、私の職務を終わります。ご協力ありがとうございました。

○市長 本日の議事は、終了いたしました。事務局からなにかありますか。

○中原次長 現在次の会議の予定はございませんが、開催が決まりましたら、委員の皆様には今後ご連絡させていただきます。

○市長 それでは、以上を持ちまして、令和6年度第1回木更津市総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。